

# 2012ARDF甲子園(144MHz)での私の判断と行動

2012年7月29日(日)  
於 新潟県阿賀野市

安島 巧



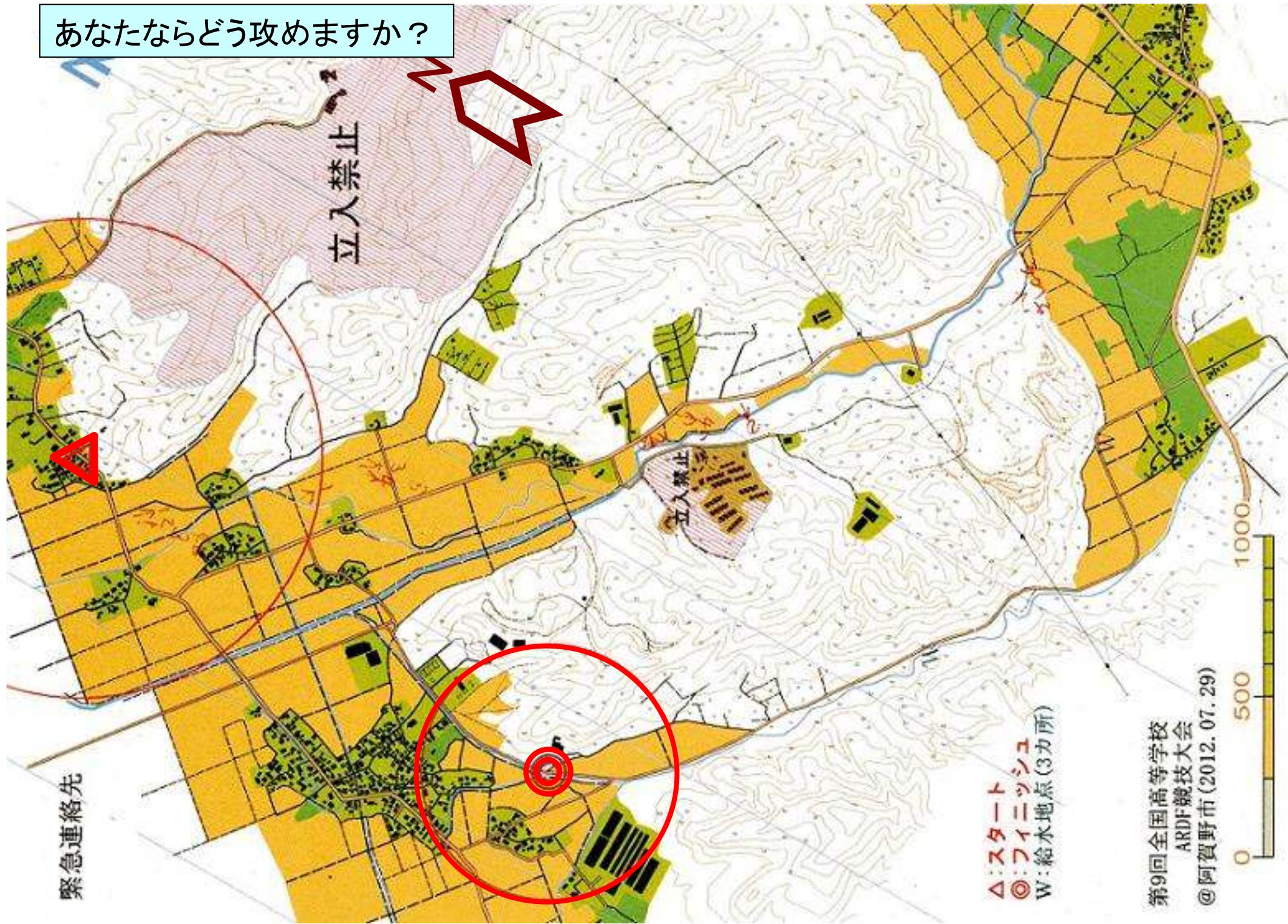
# 初めに

このドキュメントは、ARDF競技に参加したときに、私がどういう場面でどういう判断をしたかを記憶を頼りに記録したものです。

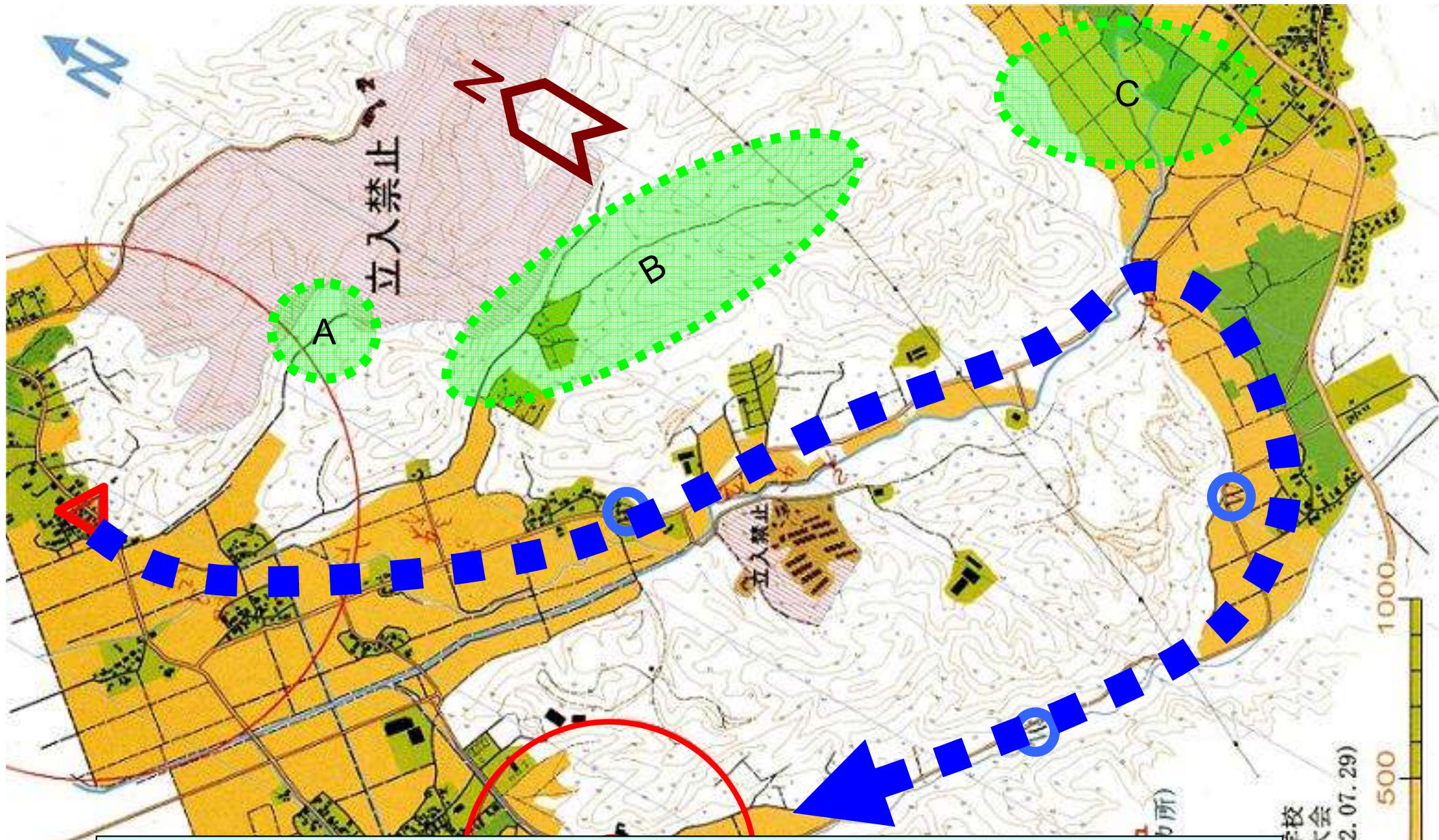
従って、「こうすべき」という正解を記載したものではありません。

ARDFに参加した一競技者の話として、主に初心者の皆さん役に立てられればと思って作成いたしました。

あなたならどう攻めますか？



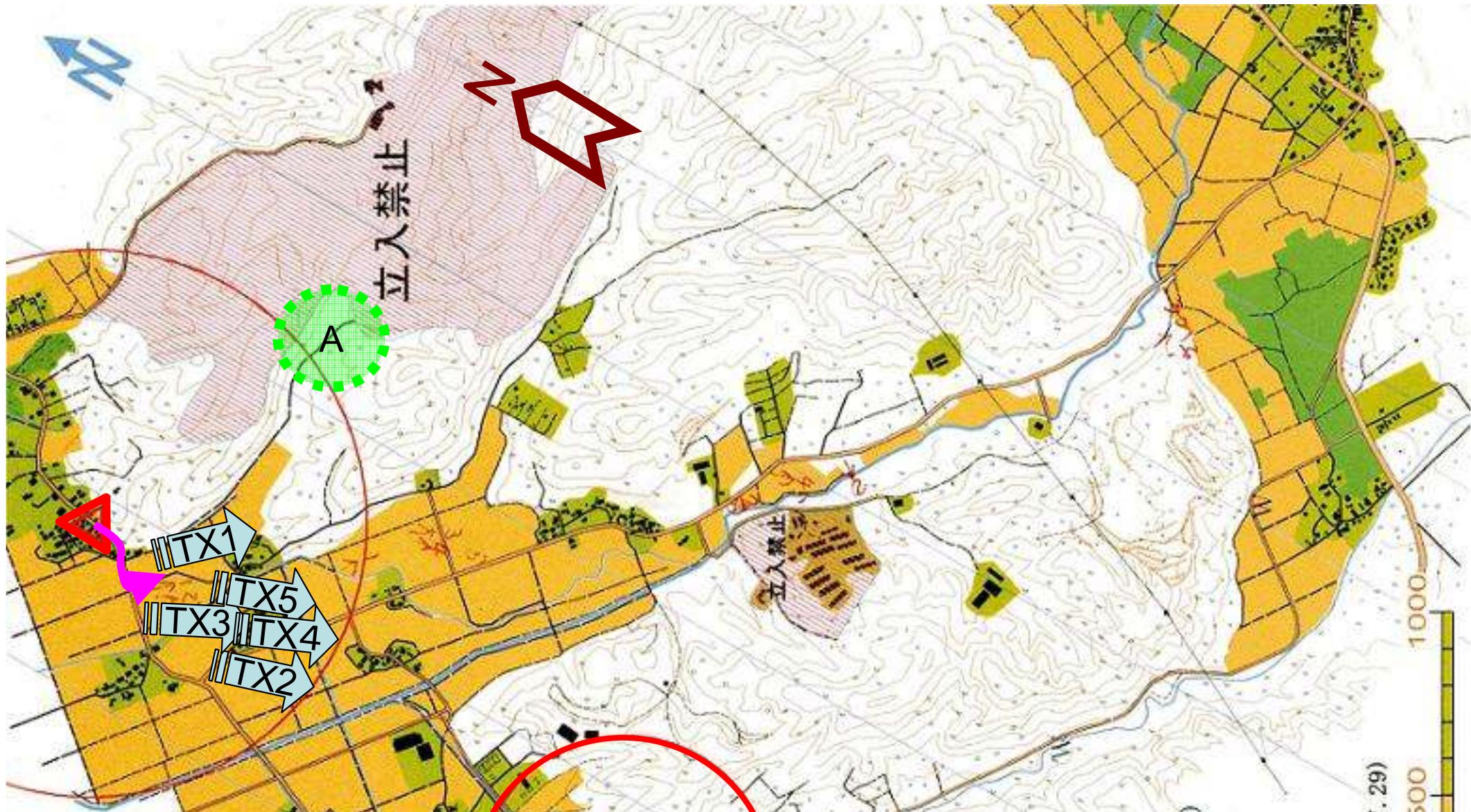
第9回全国高等学校  
ARDF競技大会  
@阿賀野市(2012.07.29)



緊急連絡先

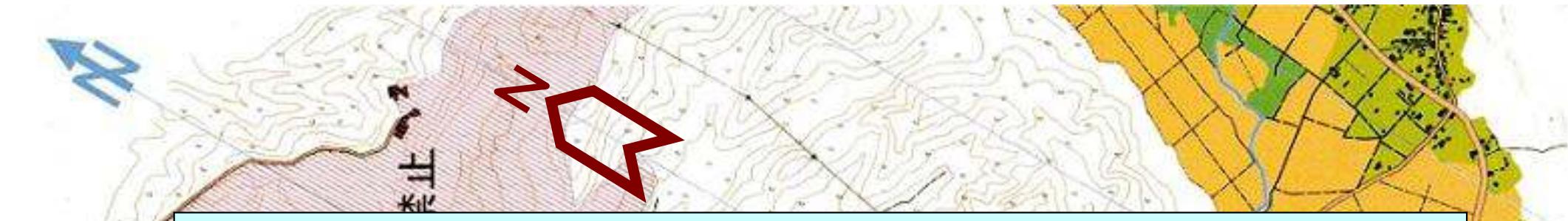
### ①スタート前の地図読み

今日は気温も高く、給水ポイントは3箇所ある。その3箇所は地図全体に分布しており、その一筆書きコースにTXがあるものと推定。ただし、A,B,Cエリアはそのコースから外れるので要注意だ。



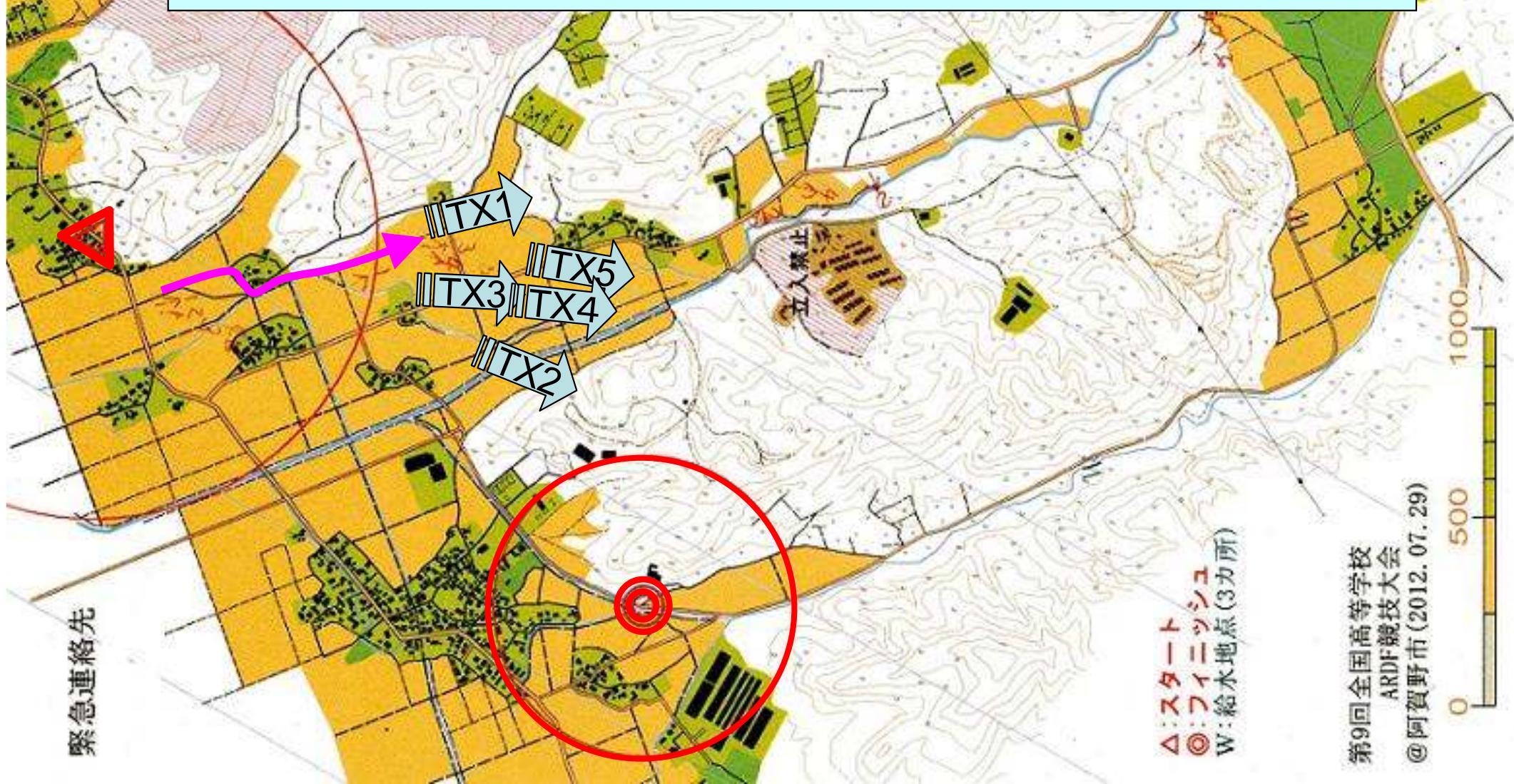
## ②探索開始地点

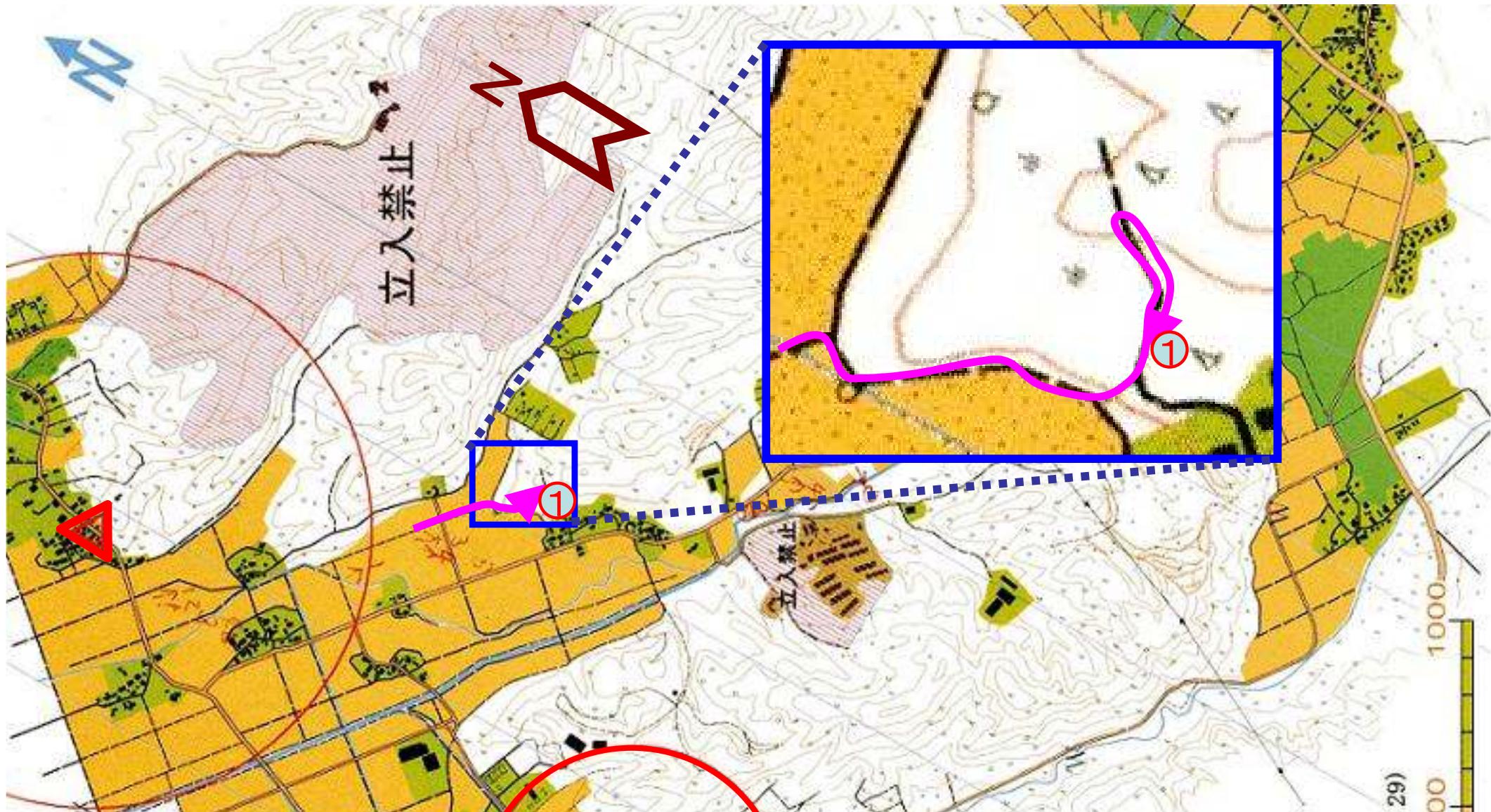
TX1が強くTX3が次。TX2,4,5は弱く、山向こうと推定。ターゲットはTX1。幸いにもAエリアではなさそうだ。



### ③広い平野

TX1は真正面の森だ。地図を見ると一本の道があり、その道沿いと推定。





#### ④TX1

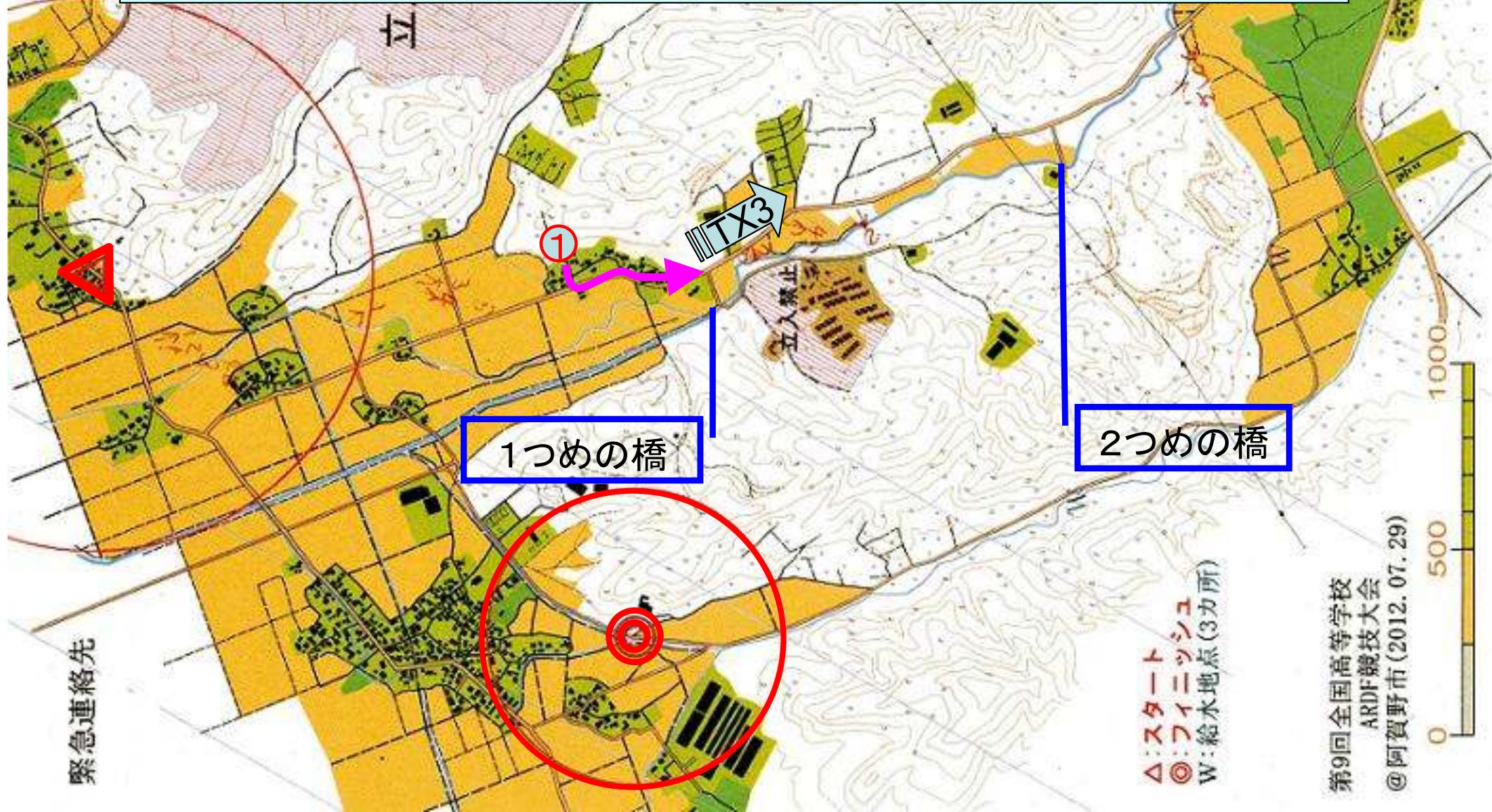
推定した道に入り、目視探索する。何人の競技者が藪奥に入っているのが見えるが、自分は道で待つ。TX1が鳴く。至近距離だ。走りこんでゲット。

緊急連絡先

△:スイッチ  
◎:W:給水

## ⑤川のどちら側

次のターゲットはTX3.課題は川のどちら側かだ。道も2つある。この橋を逃すと2つめの橋はかなり先だ。分岐のところでTX3の方探すると、そのまま車道なりと出たので車道を進む。





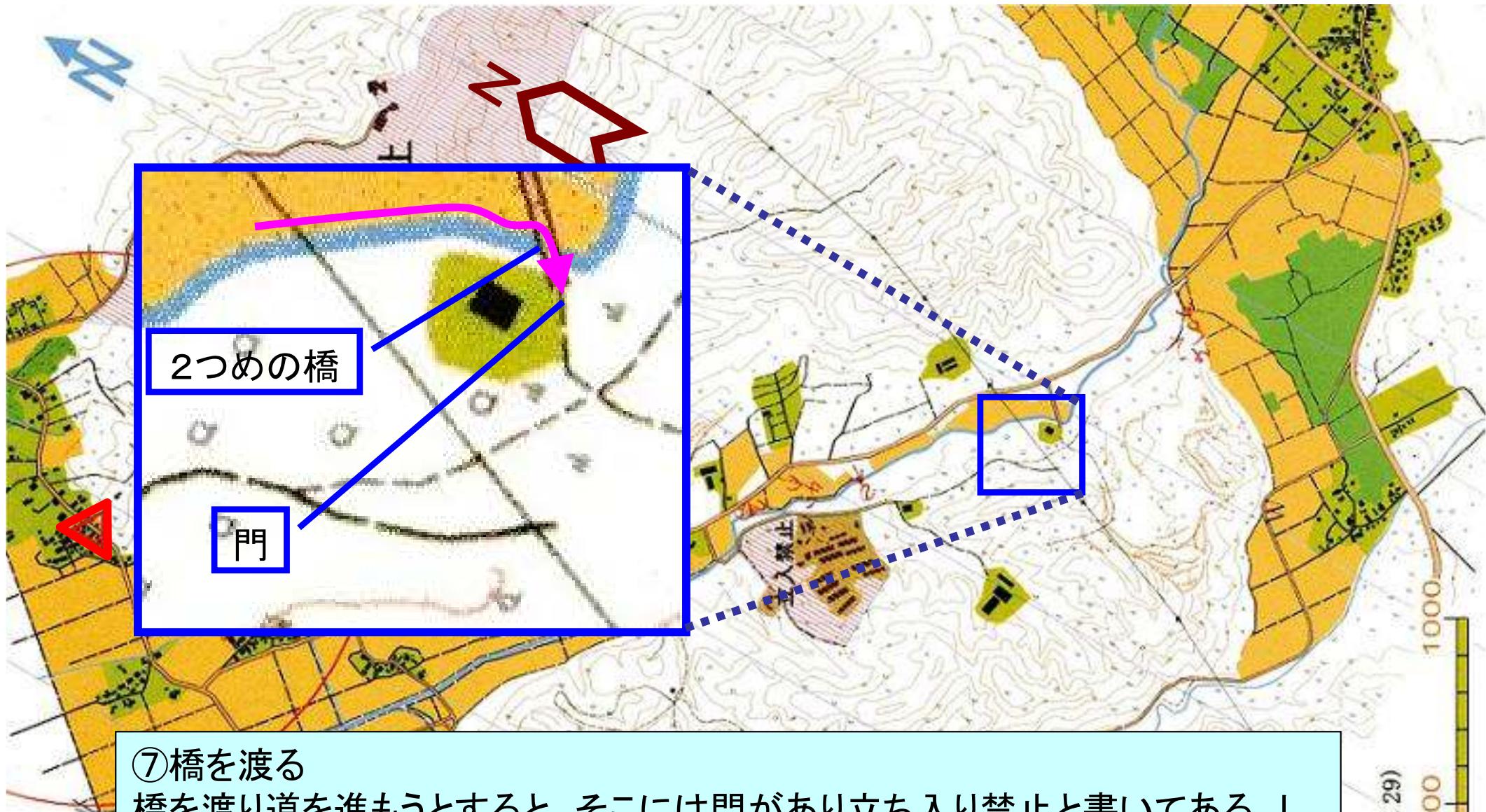
## ⑥川沿いへ

TX3は川方向。川向こうといいやな予感がする。ただ、車道と川の間にある可能性もあり、川沿いへ出て進む。やはり川向こうだ。もうすぐ2番目の橋が近づく。そこで渡るしかない。

緊急連絡先



△:スタート  
○:フィニッシュ  
W:給水地点



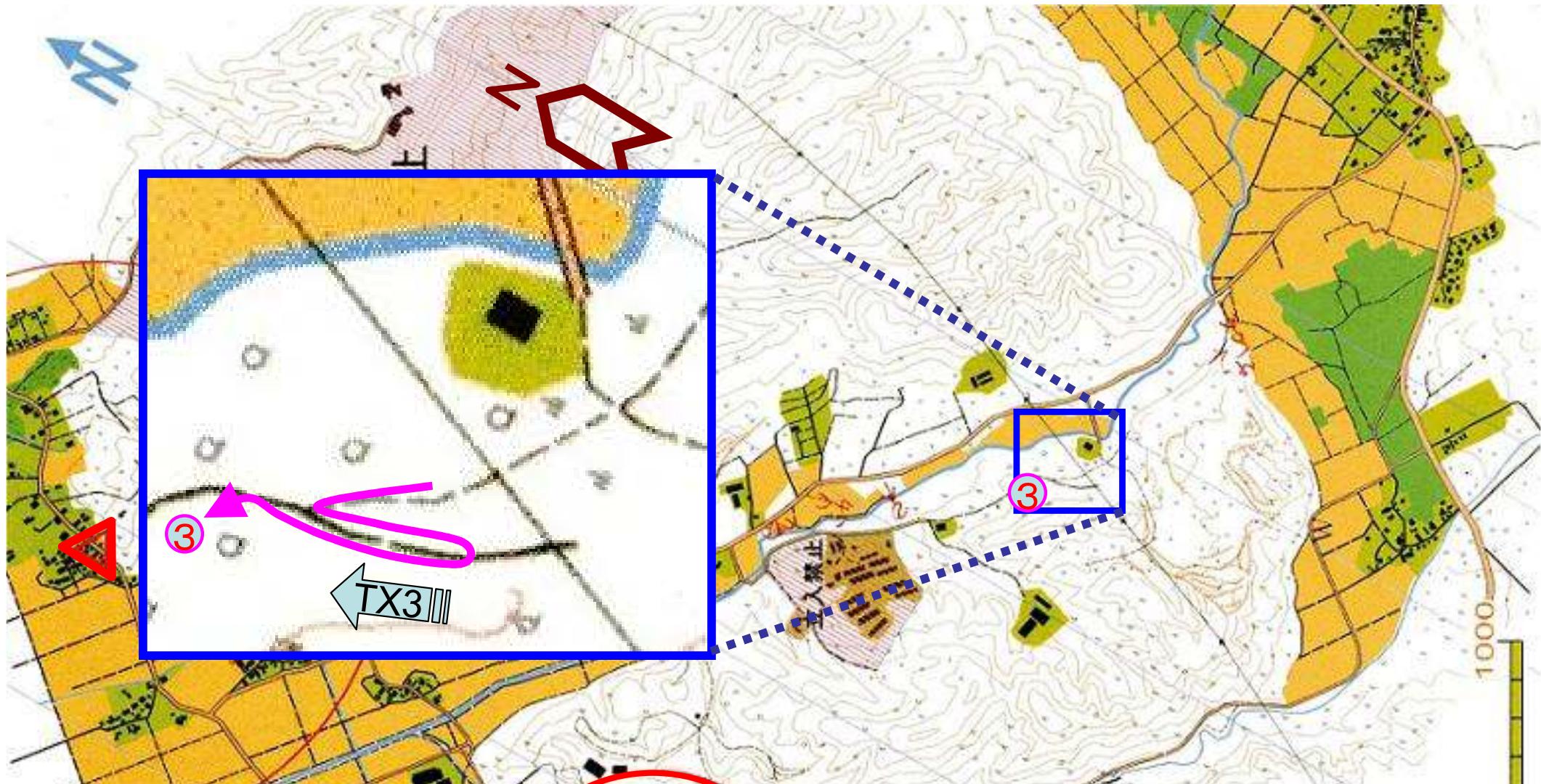
## ⑦橋を渡る

橋を渡り道を進もうとすると、そこには門があり立ち入り禁止と書いてある。しかしよく見るとARDFはOKと張り紙がある。特別に許可をもらっているのだ。ということは、門の近くに設置というもったいないことはしないだろうと考え、先へ進む。



## ⑧山道

先ほどの車道の方探結果から、山道をスタート方向へ戻り始めたところでTX3が鳴く。強烈に入感するはずだが意外と弱い。残念ながら上り坂なので、歩行スピードがあがらない。距離はあまり無いはずなので、きっと起伏の陰になっているのであろう。

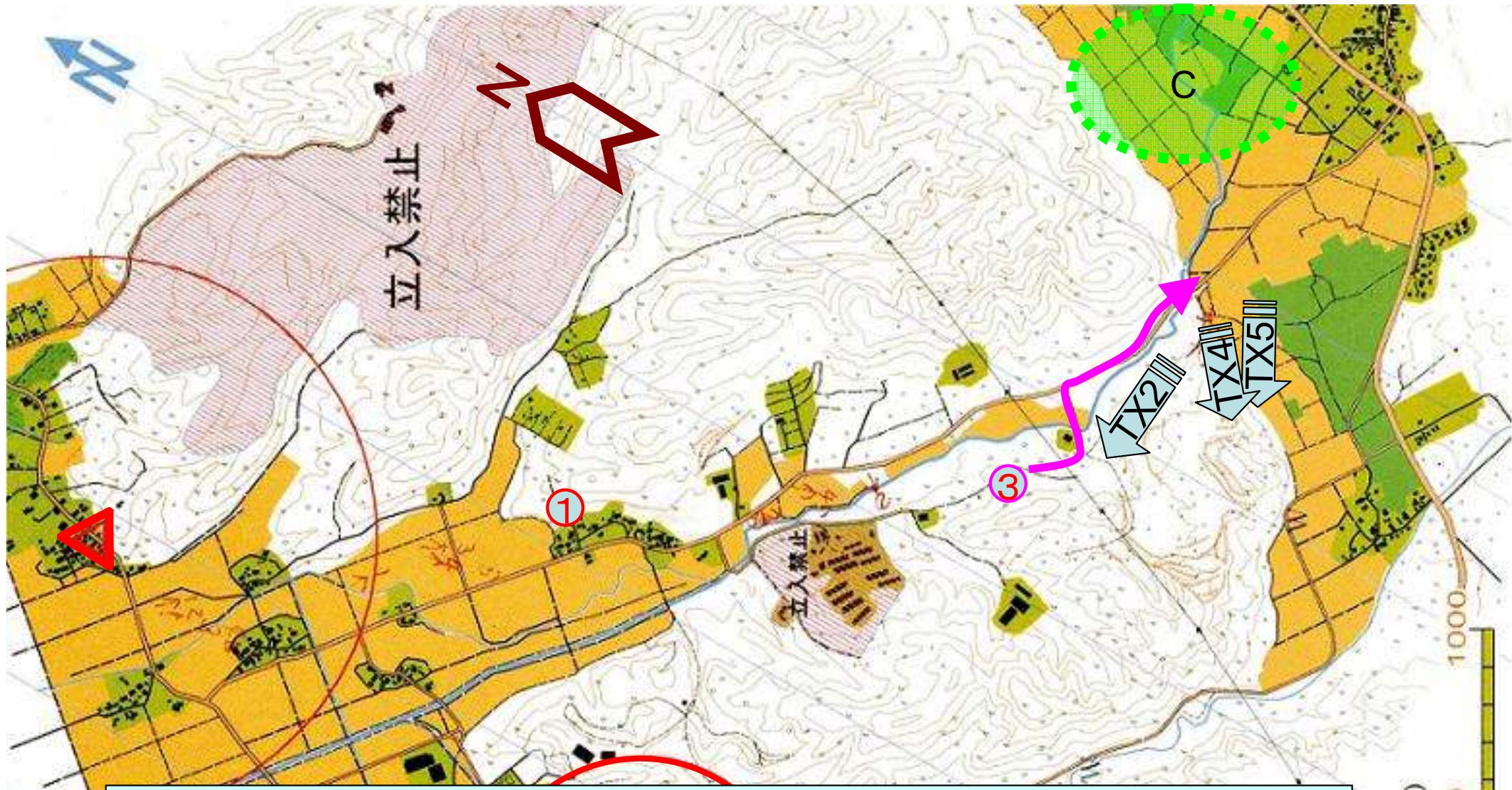


緊急連絡先

### ⑨TX3

分岐にでたところで、平坦になる。まだ時間はあるし、分岐で待機する人数が増えてきたので、すこし上に上りながら目視探索をする。TX3が鳴く。しまった逆方向だ。あわてて分岐に戻りさらに進み、TX3ゲット。

△:スタート  
◎:ゴール  
W:給水



緊急連絡先

#### ⑩Cエリア

Cエリアが見えるところまで進み、TX2,4,5がそちらにないことを確認する。スタート直前にペットボトル1本飲んだのに、既に結構グロッキー状態にあり、たとえCエリアにあったとしても捨てる決意をしていた。

△:スイ  
○:W  
◎:給水

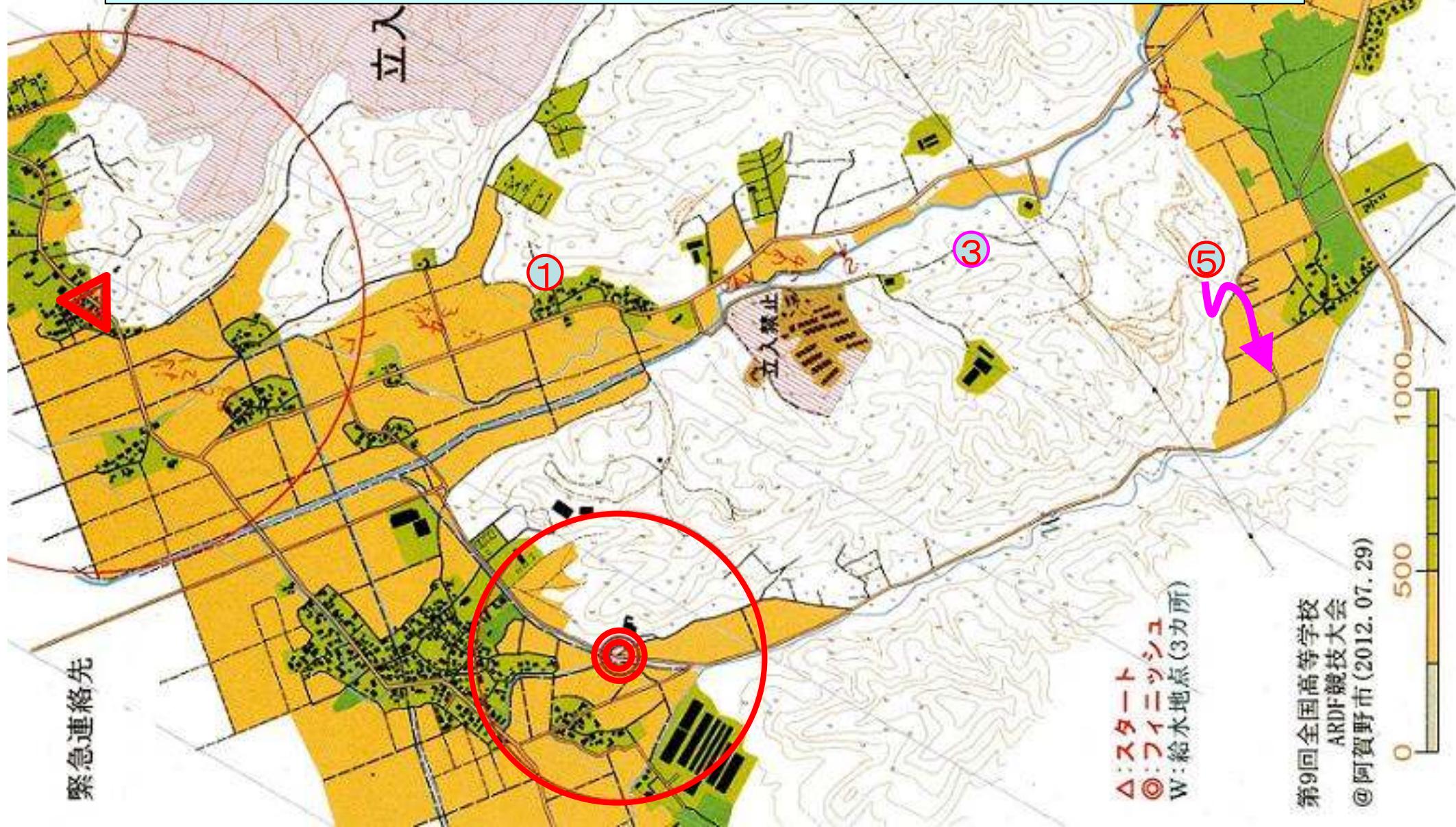


⑪ TX5

第二給水ポイントを目指す。TX5が比較的強くその方向だ。TX4はその先で弱い。さらに進むと、TX5が結構強くなった。方向は山の上の鉄塔方向。しまった、TX3から山を進まねばならなかつたのか？ただ、山との間には広い草原があり、給水ポイントも近くにあるところから草原の山際と推定し草原を進む。おそらく目視でゲットできるであろう。TX5ゲット

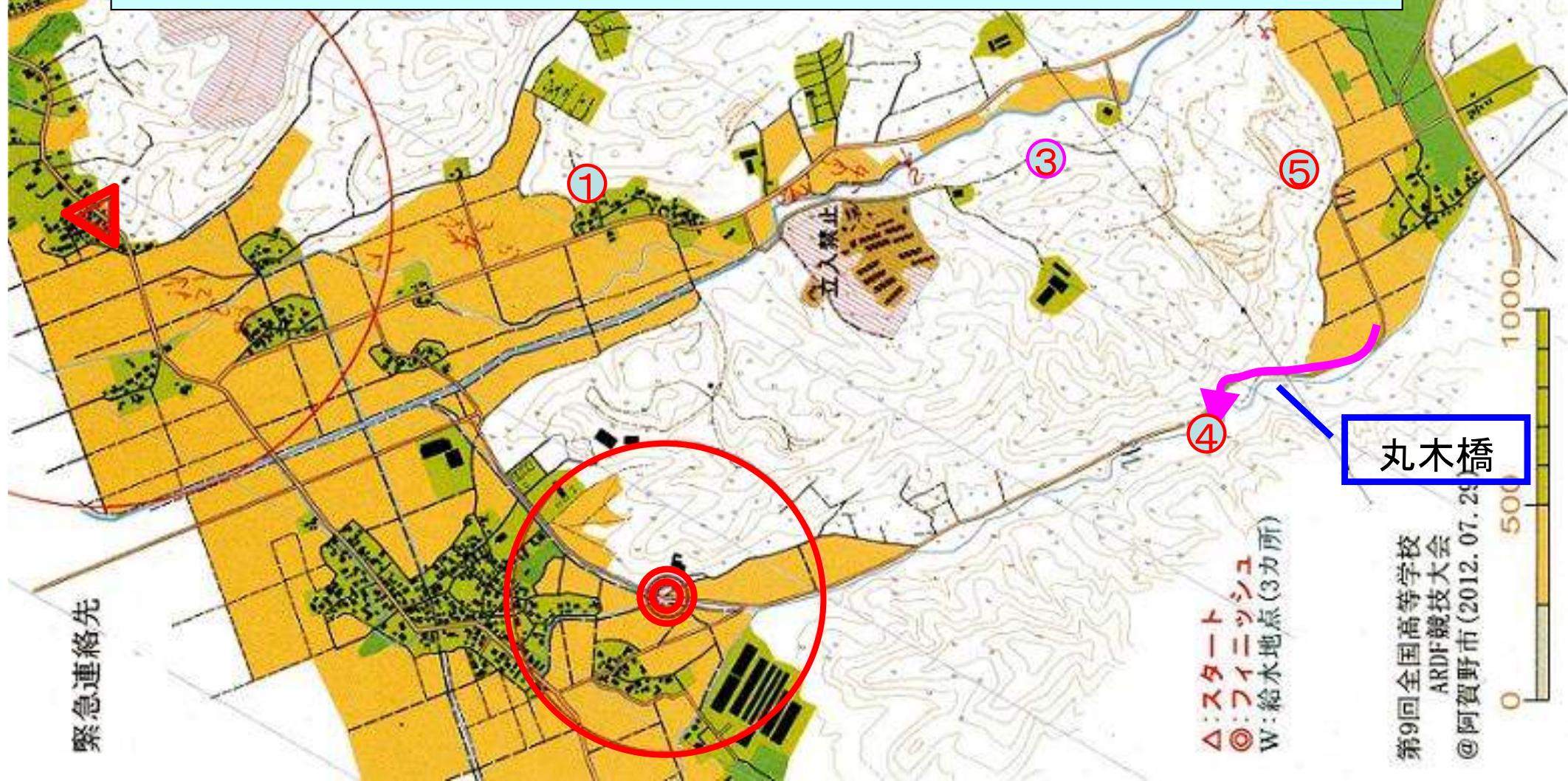
## ⑫第二給水ポイント

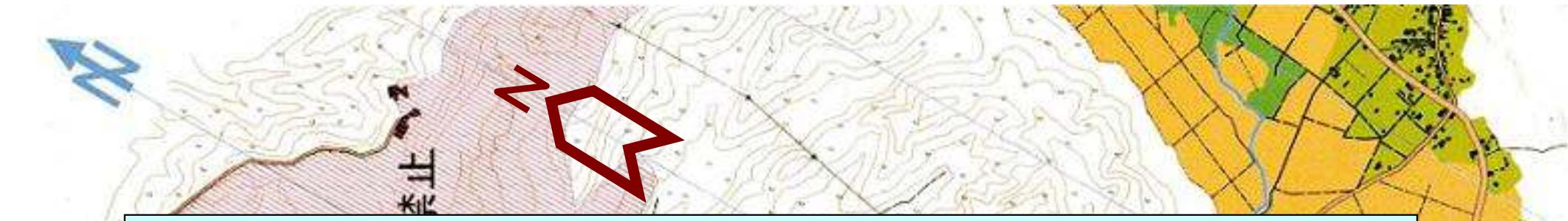
草原を脱出し道に出るが、給水ポイントへ戻る。こういう日は大変有難い。ゴール方向に向けて道を進む。



⑬TX4

TX4,2はゴール方向で、TX4が近い。丸木橋があり向こう岸にUさんがいる。高校生大会で丸木橋を渡らせるわけはない。地図上では車道脇に一本道があり、そこしかないと確信。一本道に入ったところでTX4が鳴く。思ったとおりだ。TX4ゲット





#### ⑯Dエリア

TX2はDエリアかゴールの先だ。Dエリアであることを祈る。TX2が鳴く。Dエリア方向だ。ラッキー。次のスタート組だったS先生に抜かれる。S先生もDエリアに入っていった。



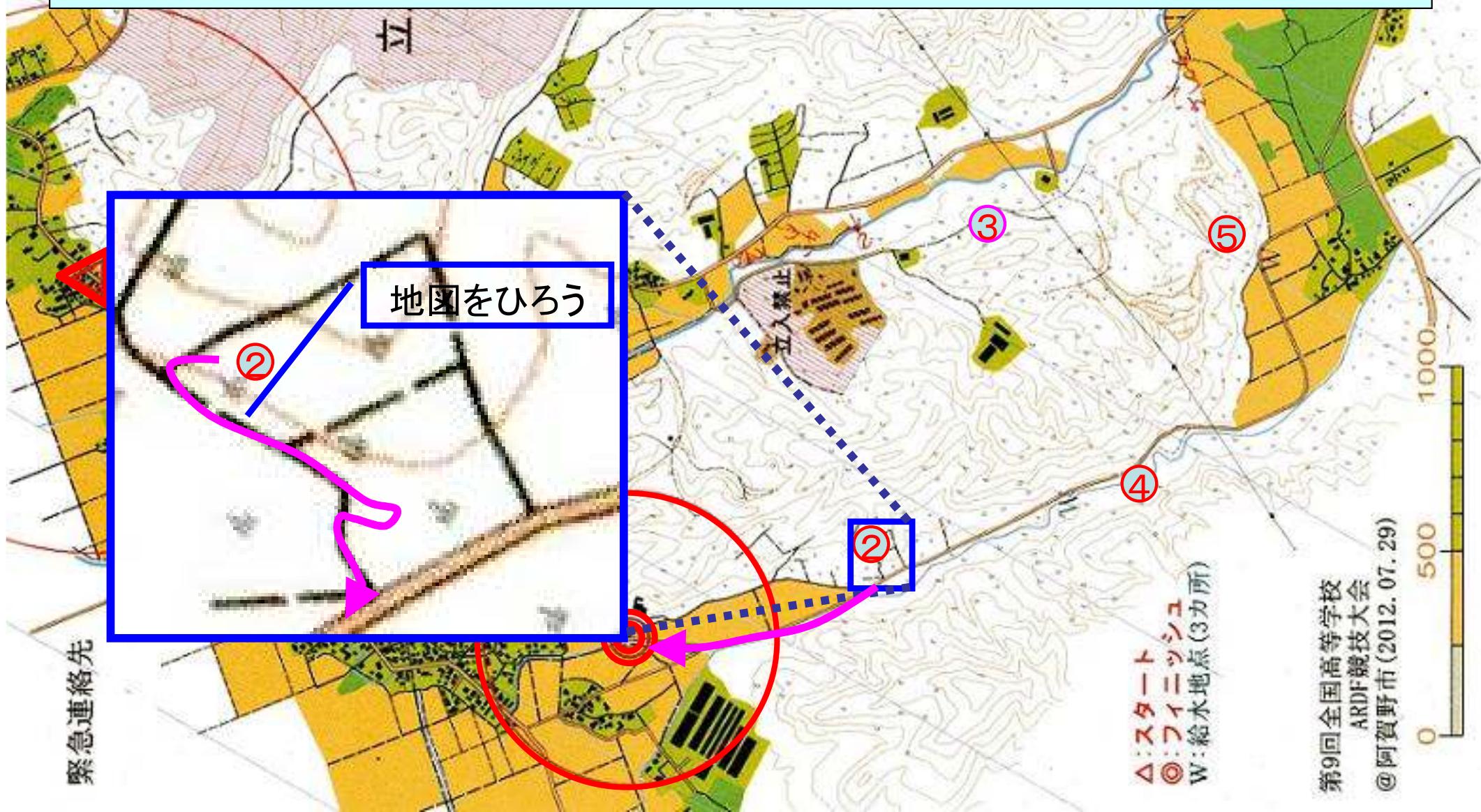
⑯ TX2

Dエリアに入ると、そこは登りだった。上り坂の上の方にS先生の姿が見える。自分はそこまで行く気がしないので、ショートカット的に途中から平坦な道を選ぶ。しばらく進むと前方に他の競技者及びS先生が駆け下りてくるのが見える。もう場所は特定できた。その道を少し登ったところでTX2が鳴く。目視も同然。TX2ゲット



## ⑯ゴールへ

道を降りるときに、くしゃくしゃになった地図を発見。単に落としたのであれば仕方が無いが、もし捨てていたのであれば許せない。大会主催者のTEL番も書いてあるし。車道に下りるところで少しもたつくが、車道に出てからは一本道。途中で逆送するS先生とそれ違う。もう一回り逆送するとは、巡回審判員も大変だ。ゴール。



おわり



## 反省

◇今回あまり反省点が見当たらない。ゴールまでの一本道沿いに全てのTXがあり、大きなミスコースをする余地がなかったからだ。

強いて言えばTX3。しかしあの谷あいで早期に場所を特定するのは至難の業だ。解は見つからない。